

「令和4年度優良工場等視察」

令和4年7月12日に学校給食関係者を対象として、本会取扱物資の生産・製造工程を視察し、生産に関わる情報をもとに学校における食育活動に役立てていただくため「優良工場等視察」を開催しました。

「倉敷市立倉敷中央学校給食共同調理場」（倉敷市鶴の浦）、「株式会社中国フジパン」（倉敷市中庄）及び「岡山県古代吉備文化財センター」を参加者19名で視察しました。

県下最大の調理場である倉敷中央学校給食共同調理場では、最新設備や安心・安全な給食を作るために設計された施設で、実際に給食を作っている様子を見学しました。次に、本会の委託加工工場である中国フジパンでは炊飯工場の衛生管理や施設設備を見ました。最後に岡山県古代吉備文化財センターでは実際に煮炊きをした古代の土器を手を持つ体験をしました。

「実際に給食を作っているところを見せていただくのは初めてだったので、作っている様子を見ながら施設の説明を聞くことができるととてもよかった」
「フジパンでは、日頃子どもたちが食べているご飯の製造過程や作るうえでの苦勞を知り、より一層子どもたちに残さないよう指導していく必要があると感じた」
「文化財センターでは食と関連づけて、土器などを準備してくださっていたので、非常に興味深かった」等の感想がありました。



《倉敷市立倉敷中央学校給食共同調理場》



《(株)中国フジパン 炊飯工場》



《岡山県古代吉備文化財センター》